第１版
2002 年５月

WARPSTAR
Universal Plug&Play、固定 IP 対応他

【対応機種】　AtermWBR75H、AtermWDR85FH、
AtermWB45RL、AtermWB55TL、AtermWB65DSL、
AtermWL50T、AtermWB50T、AtermWL30A、
AtermWB20R、AtermWL20R

【ソフト名】　WARPSTAR ベース ファームウェア　Ver.6.30 以降（β版 Ver.6.24）
WARPSTAR ユーティリティ Windows 版　Ver.6.30 以降
（Macintosh でご使用になる場合はクイック設定 Web での設定のみを説明しています。）

【対象ユーザ】　上記の WARPSTAR シリーズをご使用のお客様

もくじ

はじめに

本書では、WARPSTAR シリーズ（AtermWDR85FH、AtermWBR75H、AtermWB45RL、AtermWB55TL 、 AtermWB65DSL 、 AtermWL50T 、 AtermWB50T 、 AtermWL30A 、AtermWB20R、AtermWL20R）をバージョンアップして新たにお使いいただける、「UPnP 対応」「自動接続時のシングルユーザモード利用」「固定 IP アドレス対応（複数アドレス拡張）」「フレッツ・ISDN 自動接続対応」について説明しています。

※ ホームページ AtermStation （http://121ware.com/aterm/ 平成14年５月現在）のバージョンアップコーナーから最新のファームウェアとユーティリティを入手してバージョンアップを行っておいてください。

Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。

Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

１ バージョンアップでご利用になれる機能について

Windows Messenger や MSN Messenger を利用する（ＵＰｎＰ機能）

WARPSTAR とパソコンの UPnP 機能（Universal Plug & Play : ユニバーサルプラグアンドプレイ）を、それぞれ「使用する」に設定すると、特殊な設定を行わず Windows Messenger や MSN Messenger を複数台のパソコンでご利用になれます。
WARPSTAR とパソコン側の設定が必要です。
ただし、WARPSTAR の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPｎP の設定をすることで、利用ができます。
【ご注意】UPnP 機能は、Winndow® XP または Windows® Me のパソコンでのみご利用になれます。

※ Windows ®95/98/2000/NT4.0で、MSN Messenger4.6をご使用の場合、「電話をかける」・「インスタントメッセージ」はご使用頂けます。
※「電話をかける」サービスは、別途 ADSL接続事業者とのご契約が必要です。
※ フレッツ・ADSLなどのPPPoEが使用できる環境では、PPPoEブリッジを使用することで、１台のPCのみで利用ができます。
※WARPSTARベースとUSB-LANで接続している場合は、お使いのUSB-LANドライバをアンインストールしたあと最新のドライバをインストールする必要があります。

自動接続時のシングルユーザモード利用

クイック設定 Web で設定した自動接続において、シングルユーザアクセスモードでの利用ができます。
「シングルユーザアクセスモード」とは、ゲームなどのアプリケーションを利用する場合に設定する TCP／UDP ポートが不明な時や他の人からの相乗りを禁止したい時などに、一時的に全ポートを独占利用するモードのことです。
※「シングルユーザアクセスモード」では、外部からのアクセスが可能な状態になりますので、利用時以外は切断することをおすすめします。

固定IPアドレス対応（複数アドレス拡張）

プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定IPアドレスを、WARPSTARおよびWARPSTARに接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバルIPアドレスによるサブネットワークを構築できます。
複数のグローバルIPアドレスを付与するサービスを利用して、複数のインターネットサーバ公開などが可能になります。
※固定IPアドレスをご利用の場合は、無通信監視タイマは無効になります。
※固定 IP サービスは、WARPSTAR ベースの動作モードが[PPPoE モード]の場合のみご利用になれます。
※固定 IP サービスをご利用の場合、アクセスマネージャでのマルチアクセスは使用できません。

フレッツ・ISDN 自動接続対応（AtermWB55TL、AtermWB50T、AtermWL50T のみ）

フレッツ・ISDN にダイヤルアップで自動接続を行うことができます。
インターネットへの自動接続の設定がダイヤルアップモードでも、できるようになりました。
これにより、ゲーム機などからも、アクセスマネージャ/ダイヤルアップマネージャを使用せずに回線接続することができます。

２ Windows Messenger/MSN Messenger を利用する(UPnP 機能)

【 2-1 ＵＰｎＰ機能について 】

WARPSTAR とパソコンの UPnP 機能をご利用になると、Windows Messenger や MSN Messenger を複数台のパソコンでご利用になれます。
UPnP 機能をご利用になるには、WARPSTAR とパソコン側の設定が必要です。
ただし、WARPSTAR の設定は初期値で「使用する」になっていますのでそのままご使用できます。

「UPｎP」（Universal Plug & Play : ユニバーサルプラグアンドプレイの略）とは、XML 技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式です。
この機能を利用して、Windows® XP の"Windows Messenger" サービスなど、UPnP 機能対応アプリケーションを、NAT による IP アドレスやポート番号の変換を気にすることなく、しかも複数のパソコンから同時に、ご利用いただくことができます。

＜ご注意＞
●UPnP 機能は、Windows® XP、Windows® Me のパソコンでご利用になれます。
●UPnP 機能はブロードバンド環境でご利用ください。
●アクセスマネージャやクイック設定 Web で WAN 側（ADSL 回線、CATV、ISDN など）へのシングルユーザアクセスモードで接続中は、UPnP 機能が使用できません。
●固定IPサービスとの併用はしないでください。
●ルータ機能をもったADSLモデム・CATVモデムに接続してご利用の場合や、回線事業者から割り当てられるIPアドレスがプライベートIPアドレスの場合、WARPSTARのUPnP機能を使用しても、UPnP対応アプリケーションが利用できないことがあります。
●UPnP機能を安定してお使いいただくにはUPnPを使用するパソコンは5台以下を推奨します。

【 2-2 Windows Messenger/MSN Messenger について】

Windows® XPの場合はWindows Messenger4.6、Windows® Meの場合はMSN Messenger4.6をインストールしてください。 Windows Updateからダウンロード、インストールできます。

Messengerの各機能のうち使用できる機能は次の通りです。

○：使用できます。

×：使用できません。

	Windows Messenger Ver4.6（Windows® XPをご利用の場合）	MSN Messenger Ver4.6（Windows® Meをご利用の場合）
電話をかける	○	○
インスタントメッセージ	○	○
ファイル転送	×（リモートアシスタンスのファイル転送の機能をご使用ください。）	×
音声チャット	○	○
ビデオチャット	○	機能無し
アプリケーション共有	○	機能無し
ホワイトボード	○	機能無し
リモートアシスタンス（ファイル転送機能）	○	機能無し

＜ご注意＞

●「電話をかける」「インスタントメッセージ」についてはUPnPに対応していないパソコンでもご利用になれます。ただし、MSN Messenger4.6をご使用ください。

●「電話をかける」サービスは、別途 ADSL 接続事業者とのご契約が必要です。

●MSN Messenger/Windows Messengerにサインインしたのに相手側にオンライン状態が認識されない場合や音声チャット・ビデオチャットにおいて招待が通知されない、承諾しても音声・ビデオチャットが開始できない場合は一旦サインアウトし再度サインインし直してください。状態が変わらないときは一旦Messengerを終了し実行し直してください。それでも状態が変わらないときはパソコンを再起動し直してください。

＜お知らせ＞

●NetMeeting については、UPnP 機能をご利用いただけません。

【　2-3　パソコンの設定】
Windows® XPの場合

設定の前にWindows Updateより修正ファイルをインストールする必要があります。
修正ファイルをインストールしないとWindows Messengerの「電話をかける」の機能が使用できません。

①［スタート］－［マイコンピュータ］をクリックし、Windows® XPをインストールしたドライブの［Windows］から［system32］をクリックする

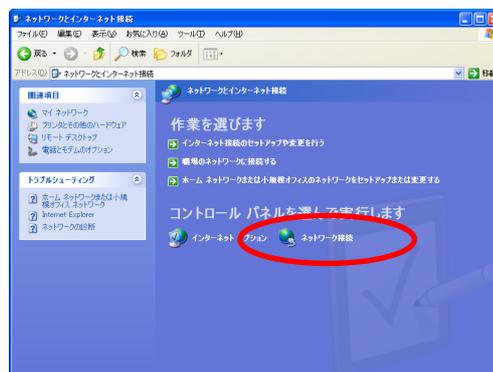
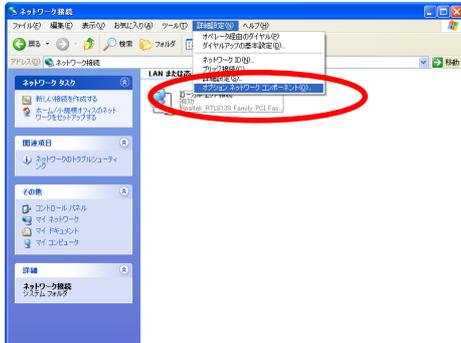
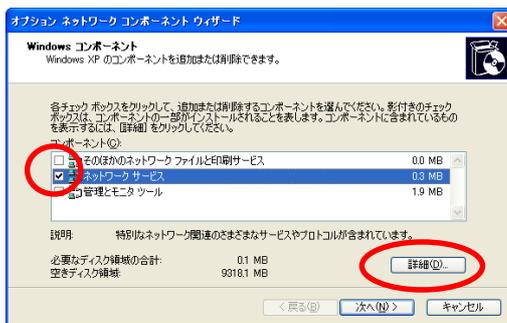
②［rtcdll.dll］の更新日時が2002/02/10以降になっていれば更新済みです。

ファイルが古い場合は［スタート］－［コントロールパネル］の関連項目の［Windows Update］を選択し、［インストールする更新の選択］をクリックして一覧から、［Windowsメッセンジャのオーディオに関連するアップデート］をインストールしてください。

1．［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］を選択する

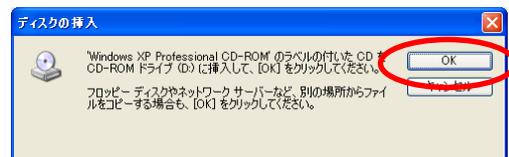
2．［ネットワークとインターネット接続］アイコンをクリックする

コントロールパネルは［カテゴリ表示］にしてください。

3．［ネットワーク接続］アイコンをクリックする

４．メニューの［詳細設定］をクリックして［オプションネットワークコンポーネント］を選択する

５．ネットワークサービスにチェックを入れて、［詳細］ボタンを押す

６．［ユニバーサルプラグアンドプレイ］にチェックをいれる

７．［ＯＫ］をクリックする

８．［次へ］をクリックする

９．次の画面が表示された場合は、画面の指示に従って［ＯＫ］をクリックする

以上でパソコンの UPnP 機能は動作します。

WARPSTARの UPnP機能は、初期値で「使用する」になっております。
（WARPSTARの設定については、本書の「2-4　WARPSTARの設定」をご覧ください。）
あとは「自動接続」または「アクセスマネージャ接続」で、インターネットに接続し、Windows Messenger4.6をご利用ください。

WARPSTAR の UPnP 機能が正常に動作すると、以下のアイコンが表示されます。

■［マイネットワーク］画面に［Aterm WARPSTAR　Series］アイコンが表示されます。

［Aterm　WARPSTAR　Series］アイコンをダブルクリックすると、クイック設定 Web の画面を開き、設定することができます。

※［マイネットワーク］画面は
　［スタート］→［マイネットワーク］を
　クリックすると表示されます。

■［ネットワーク接続］画面に［インターネットゲートウェイ］アイコンが表示されます。

表示された［インターネットゲートウェイ］アイコンを右クリックして［接続］または［切断］を選択すると、WAN側への接続／切断ができます。（［インターネットゲートウェイ］アイコンを右クリックして［状態］を選択すると、WAN側の接続状態を確認することができます。）

※［ネットワーク接続］画面は
　　［スタート］→［マイネットワーク］を選択し、［ネットワーク接続を表示する］を
　　選択すると表示されます。

※［インターネットゲートウェイ］アイコンの回線状態はWAN側の回線状態を表しています。
　各パソコンごとの接続状態を表しているものではありません。１台目のパソコンがインターネットに接続していれば２台目のパソコンは、WAN側へ接続していなくても、「接続中」と表示されます。
　また、複数のパソコンがインターネットに接続している状態でこのアイコンにより「切断」を行うと、全てのパソコンのインターネット接続が切断されてしまいます。
　通常は、「自動接続」「アクセスマネージャ接続」でインターネットに接続してください。

［マイネットワーク］画面の［Aterm WARPSTAR Series］アイコンが表示されない、または[ネットワーク接続]画面に[インターネットゲートウェイ]のアイコンが表示されない（WARPSTARを検出できない）場合

→ケーブルの抜き差し、パソコンのIPアドレスの更新、WARPSTARの設定後の再起動、バージョンアップ、電源OFF/ONのあと、WARPSTARを検出する際に時間がかかる場合があります。（３０秒程度）しばらく待ってみてもWARPSTARが検出されない場合は、パソコンを再起動してください。

→一度UPnPで他のWARSTARや他のUPnP対応ルータに接続したパソコンを他のWARPSTARに接続しても検出されないことがあります。この場合はパソコンを再起動してください。

→LANインタフェースを変更した場合(例えばEthernetから無線LANへ)はパソコンを再起動してください。

Windows® Meの場合

設定前に、DirectX8.1をインストールしてください。

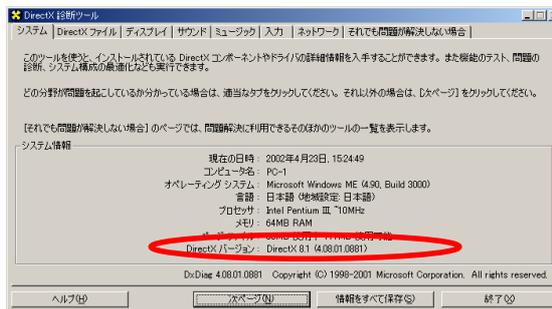
自分のパソコンにDirectX8.1がインストールされているかを次の手順で確認します。

①［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする

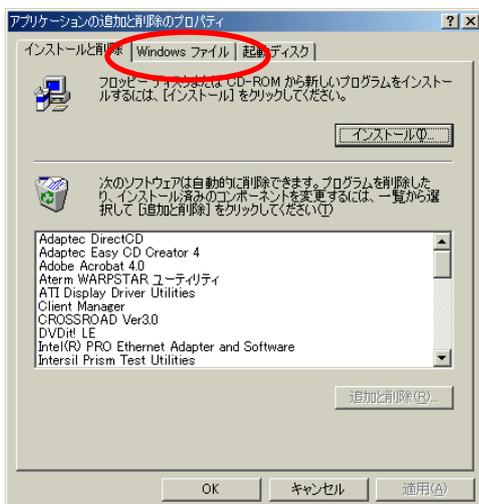
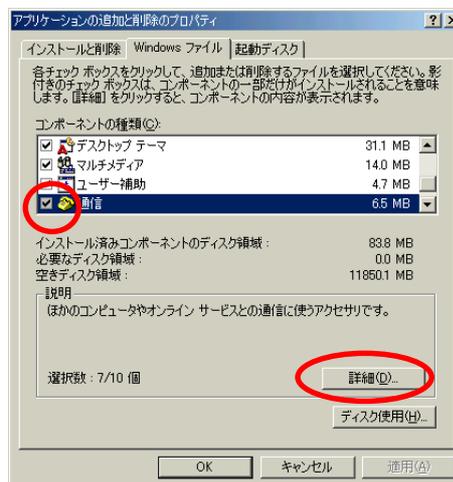
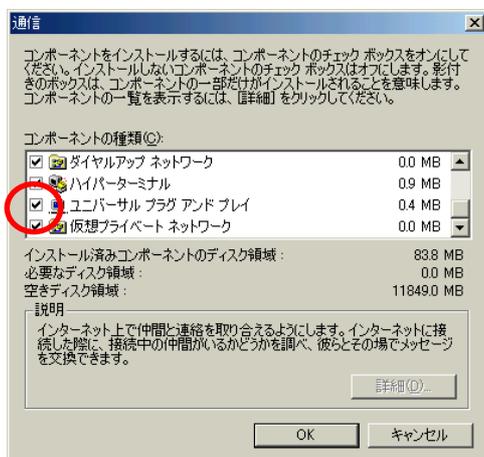
②「dxdiag」と入力する

③［ＯＫ］をクリックする

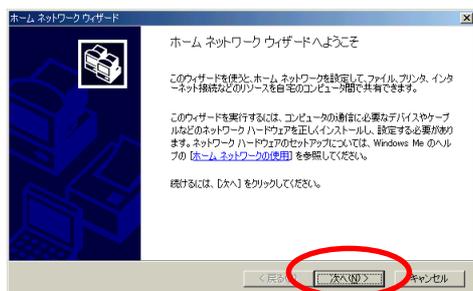
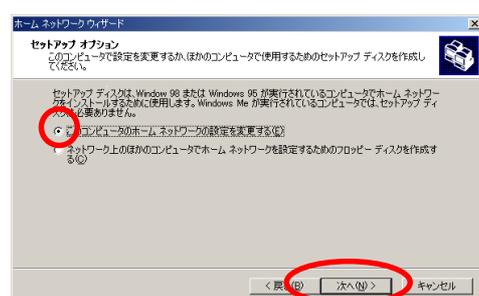
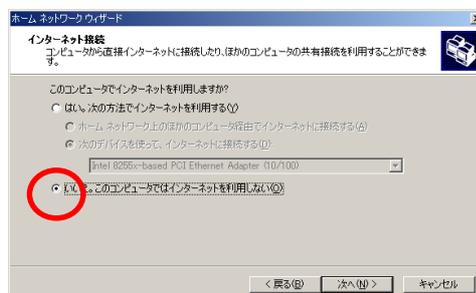
④システムタグの下の方に「DirectXバージョン:DirectX*.*」と表示されます。

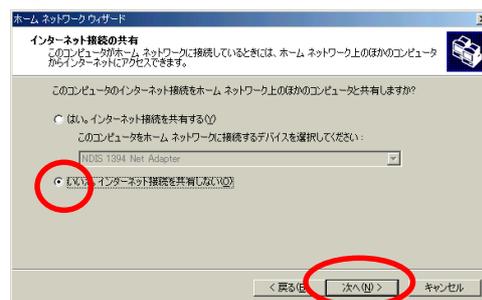
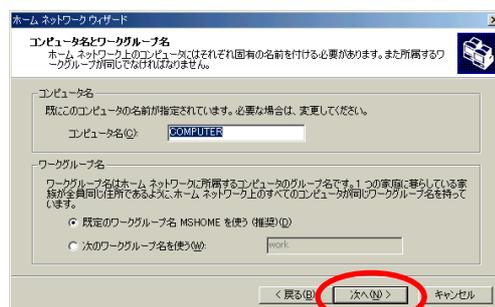
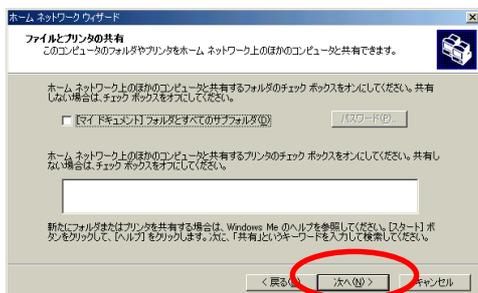
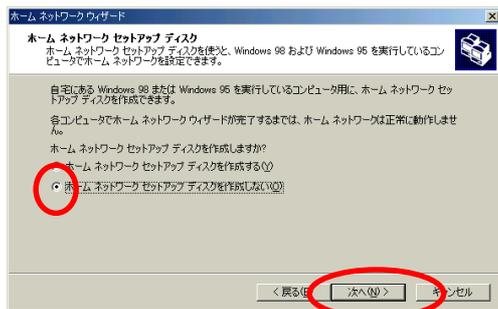
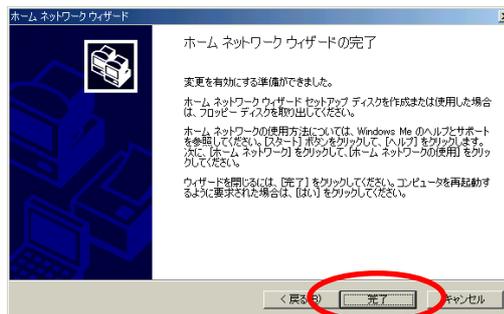
もし古い場合はWindows Updateからダウンロードしてインストールしてください。

１．［スタート］をクリックし、［設定］→［コントロールパネル］を選択する

２．［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックする

３．［Windows ファイル］タブをクリックする

４．［コンポーネントの種類］欄で［通信］を選択し、［詳細］をクリックする

5．［コンポーネントの種類］欄で［ユニバーサルプラグアンドプレイ］にチェックする

6．［ＯＫ］をクリックする

7．［スタート］ボタンをクリックし［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］から［ホームネットワークウィザード］を選択する

8．［次へ］をクリックする

9．この画面が表示された場合は、［このコンピュータのホームネットワーク設定を変更する］を選択し、［次へ］をクリックする

１０．［いいえ、このコンピュータではインターネットを利用しない］が選択されていることを確認する

１１．［次へ］をクリックする

１２．［いいえ、インターネット接続を共有しない］を選択し、［次へ］をクリックする

１３．そのまま［次へ］をクリックする
コンピュータ名、ワークグループ名は変更しないでください。

１４．［ファイルとプリンタの共有］画面が表示された場合はそのまま［次へ］をクリックする

１５．［ホームネットワークセットアップディスクを作成しない］を選択し、［次へ］をクリックする

１６．［完了］をクリックする

１７．パソコンを再起動するよう画面が表示された場合は、画面の表示に従って再起動を行ってください

以上でパソコンの UPnP 機能は動作します。

WARPSTARのUPnP機能は、初期値で「使用する」になっております。
（WARPSTARの設定については、本書の「2-4　WARPSTARの設定」をご覧ください。）
あとは「自動接続」または「アクセスマネージャ接続」で、インターネット接続し、MSN Messenger4.6をご利用ください。

WARPSTAR の UPnP 機能が正常に動作すると、以下のアイコンが表示されます。

■［マイネットワーク］画面に［Aterm WARPSTAR　Series］アイコンが表示されます。

［Aterm　WARPSTAR　Series］アイコンをダブルクリックすると、クイック設定Webの画面を開き、設定することができます。

※［マイネットワーク］画面は
　ディスクトップの［マイネットワーク］を
　クリックすると表示されます。

［マイネットワーク］画面の［Aterm WARPSTAR Series］アイコンが表示されない（WARPSTAR を検出できない）場合

→ケーブルの抜き差し、パソコンのIPアドレスの更新、WARPSTARの設定後の再起動、バージョンアップ、電源OFF/ONのあと、WARPSTARを検出する際に時間がかかる場合があります。（３０秒程度）しばらく待ってみてもWARPSTARが検出されない場合は、パソコンを再起動してください。

→一度UPnPで他のWARSTARや他のUPnP対応ルータに接続したパソコンを他のWARPSTARに接続しても検出されないことがあります。この場合はパソコンを再起動してください。

→LANインタフェースを変更した場合(例えばEthernetから無線LANへ)はパソコンを再起動してください。

【 2-4 WARPSTARの設定】

クイック設定Webまたは、らくらくアシスタントで設定します。WARPSTARの設定は初期値が「使用する」になっています。

クイック設定Webで設定する

ＵＰｎＰ機能を設定する

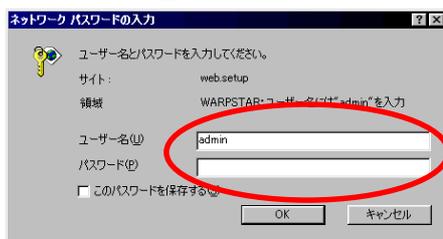
１．パソコンを起動する

２．ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

WARPSTARベースのIPアドレスを入力しても開きます。

（工場出荷時は、「192.168.0.1」です。）

例）http://192.168.0.1/

３．ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力する

４．［ＯＫ］をクリックする

５．［詳細設定］の ▼ をクリックして［高度な設定］を選択する

６．［UPnP機能］の［使用する］をチェックする

７．［設定］をクリックする

８．［登録］をクリックする

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅してWARPSTARベースが再起動します。

UPnPの状態を確認する

現在接続されているUPnPのパソコンのIPアドレスとMACアドレスが確認できます。

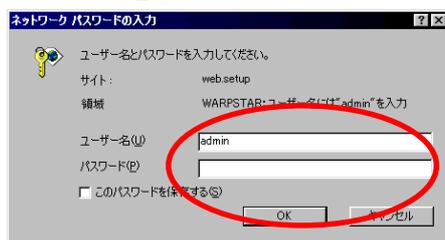
１．パソコンを起動する

２．ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

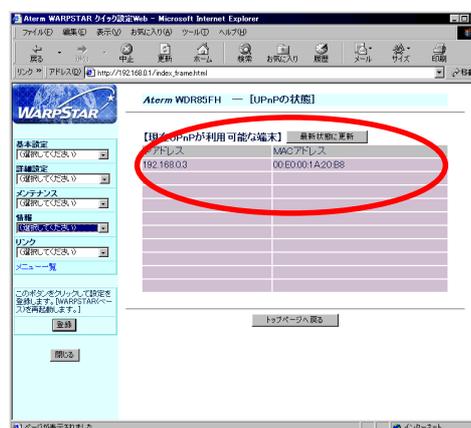
WARPSTARベースのIPアドレスを入力しても開きます。

（工場出荷時は、「192.168.0.1」です。）

例）http://192.168.0.1/

３．ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力する

４．［ＯＫ］をクリックする

５．［情報］の ▼ をクリックして、［ＵＰｎＰの状態］を選択する

現在接続されているUPnPのパソコンのIPアドレスとMACアドレスが確認できます。

＜お知らせ＞

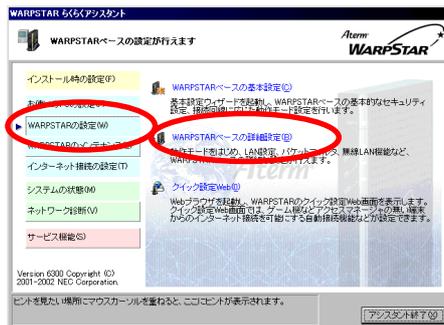
●ユニバーサルプラグアンドプレイを設定していなくてもDirectX8.1とMSN Messenger4.6の両方をインストールしたパソコンが、クイック設定Webの「現在UPnPが利用可能な端末」に表示される場合があります。

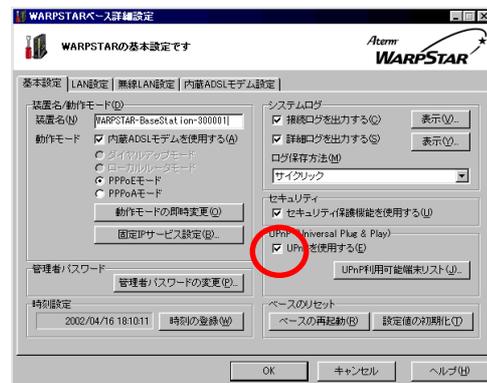
●ケーブルの抜き差し、パソコンのIPアドレスの更新、WARPSTARの設定後の再起動、バージョンアップ、電源OFF/ONのあと、WARPSTARを検出する際に時間がかかる場合があります。（３０秒程度）しばらく待ってみてもWARPSTARが検出されない場合は、パソコンを再起動してください。

らくらくアシスタントで設定する

ＵＰｎＰ機能を設定する

１．らくらくアシスタントを起動する

２．［WARPSTARの設定］をクリックし、［WARPSTARベースの詳細設定］をクリックする

３．管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする

４．［基本設定］タブで［ＵＰｎＰを使用する］にチェックする

５．［ＯＫ］をクリックする

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅してWARPSTARベースが再起動します。

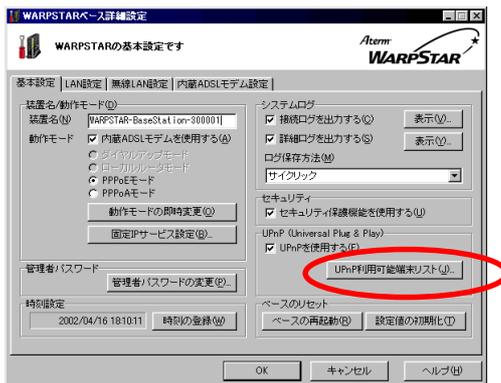
UPnPの状態を確認する

現在接続されているUPnPのパソコンのIPアドレスとMACアドレスが確認できます。

１．らくらくアシスタントを起動する

２．［WARPSTARの設定］をクリックし、［WARPSTARベースの詳細設定］をクリックする

３．管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする

４．［基本設定］タブで［ＵＰｎＰ利用可能端末リスト］をクリックする

５．現在接続されているUPnPのパソコンのIPアドレスとMACアドレスが確認できます。

＜お知らせ＞

●ユニバーサルプラグアンドプレイを設定していなくてもDirectX8.1とMSN Messenger4.6の両方をインストールしたパソコンが、「UPnP利用可能な端末」に表示される場合があります。

●ケーブルの抜き差し、パソコンのIPアドレスの更新、WARPSTARの設定後の再起動、バージョンアップ、電源OFF/ONのあと、WARPSTARを検出する際に時間がかかる場合があります。（３０秒程度）しばらく待ってみてもWARPSTARが検出されない場合は、パソコンを再起動してください。

3　自動接続時のシングルユーザモード利用

【　3-1 自動接続時のシングルユーザモードとは】

クイック設定 Web で設定した接続先に接続する際、「シングルユーザアクセスモード」で接続できます。「シングルユーザアクセスモード」とは、ゲームなどのアプリケーションを利用する場合に設定する TCP／UDP ポートが不明な時や他の人からの相乗りを禁止したい時などに、一時的に全ポートを独占利用するモードのことです。

※「シングルユーザアクセスモード」では、外部からのアクセスが可能な状態になりますので、利用時以外は切断することをおすすめします。

【　3-2 クイック設定Webで設定する】

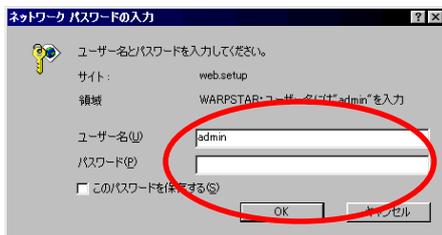
１．パソコンを起動する

２．ブラウザを起動し、
「http://web.setup/」を入力し、
クイック設定Webのページを開く

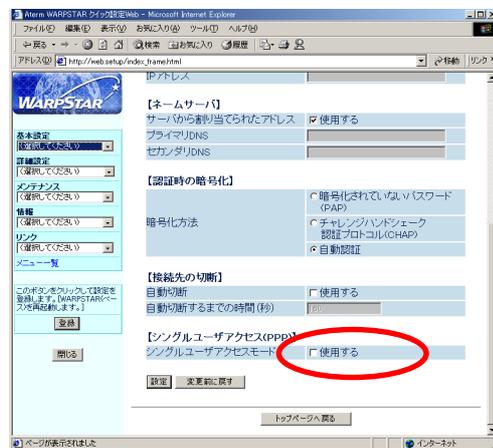
WARPSTARベースのIPアドレスを入力しても開きます。

（工場出荷時は、「192.168.0.1」です。）

例）http://192.168.0.1/

３．ユーザ名に「admin」と入力し、
パスワードを入力する

４．［ＯＫ］をクリックする

５．［基本設定］の ▼ をクリックして
［WAN側自動接続設定］を選択する

６．［シングルユーザアクセスモード］の
［使用する］をチェックする

７．［設定］をクリックする

８．［登録］をクリックする

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅してWARPSTARベースが再起動します。

４　固定 IP アドレス対応（複数アドレス拡張）

【４-1　固定IPアドレス対応（複数アドレス拡張）を利用するには】

WARPSTARでは、プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定IPアドレスを、WARPSTARおよびWARPSTARに接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバルIPアドレスによるサブネットワークを構築できます。
複数のグローバルIPアドレスを付与するサービス（固定IPサービスなど）を利用して、複数のインターネットサーバ公開などが可能になります。

＜ご注意＞

●固定IPサービスを利用するとLAN側に接続されたパソコンは、インターネットから直接参照可能な状態になります。固定IPサービスはパソコンで十分なセキュリティ対策を実施した上でご利用ください。

●固定IPサービスをご利用の場合は、「無通信監視タイマ」、「マルチライン機能」はご利用になれません。

●固定IPサービスは、WARPSTARベースの動作モードが［PPPoEモード］の場合のみご利用になれます。

固定IPサービスをご利用になるには次の設定が必要です。

（１） WARPSTARの設定を行う

・固定IPサービスを利用する設定をする。
・DHCPサーバ機能を無効にする。
・WARPSTARにグローバルIPアドレス、サブネットマスク、プライマリDNSサーバアドレス、セカンダリDNSサーバアドレスを設定する。

WARPSTARに割り当てるグローバルIPアドレスはプロバイダから指定されたものを使用します。
割り当てられる連続したグローバルIPアドレスのうち、最初（ネットワークアドレス）と最後（ブロードキャストアドレス）はシステムで予約されており、一般的にホストには使用しません。

（２） パソコンの設定を行う

・それぞれのパソコンにプロバイダから割り当てられたグローバルIPアドレスとネットマスクを設定します。
・ゲートウェイアドレス、DNSサーバのアドレスにWARPSTARに設定したグローバルIPアドレスを設定します。

＜お知らせ＞

● 固定 IP サービスを利用する場合、NAT 機能は使用しませんので、ネットワークアプリケーションを利用する場合に、アクセスマネージャのアプリケーションプロファイルを使用する必要はありません。

●UPnP 機能との併用はご利用になれません。WARPSTAR の初期状態は「使用する」になっていますが、設定の途中で「使用しない」設定を行います。

【 4-2　WARPSTARの設定を行う】

WARPSTARの動作モードが［PPPoEモード］の場合にのみ設定できます。

クイック設定 Web で設定する

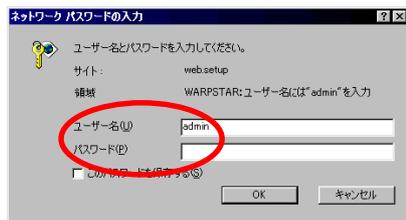
１．パソコンを起動する

２．ブラウザを起動し、
「http://web.setup/」を入力し、
クイック設定Webのページを開く

WARPSTARベースのIPアドレスを入力しても開きます。

（工場出荷時は、「192.168.0.1」です。）

例）http://192.168.0.1/

３．ユーザ名に「admin」と入力し、
パスワードを入力する

４．［ＯＫ］をクリックする

５．［詳細設定］の ▼ をクリックして
［高度な設定］を選択する

６．［固定IPサービス］の［使用する］に
チェックする

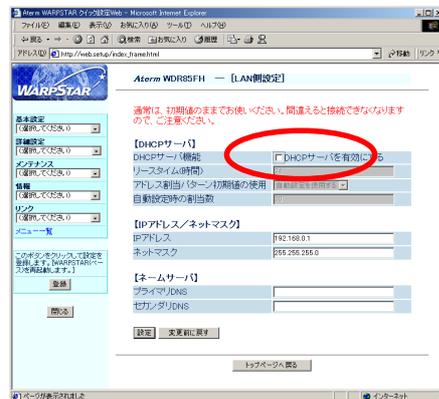
７．［ＯＫ］をクリックする

８．［UPnP機能］の［使用する］の
チェックを外す

※UPnP機能と固定IPサービスは同時に使用しないでください。この設定で［UPnP機能］を［使用しない］状態にしました。

９．［設定］をクリックする

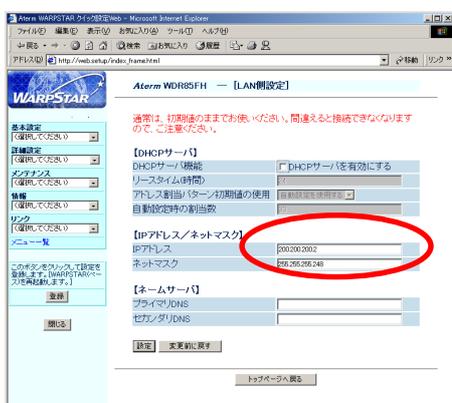
１０．［詳細設定］の▼ をクリックして
［LAN側設定］を選択する

１１．［DHCPサーバを有効にする］の
チェックを外す

１２．［IPアドレス／ネットマスク］に WARPSTARに割り当てるIPアドレスとサブネットマスクを入力する

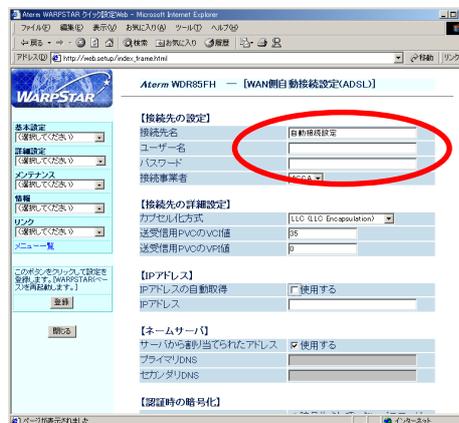
例)グローバルIPアドレス８個割り当てサービス利用の場合

割り当てられたIPアドレス：
200.200.200.1～200.200.200.8
ネットマスク：255.255.255.248
プライマリDNS：211.211.211.1
セカンダリDNS：211.211.222.2

WARPSTARの設定
IPアドレス：200.200.200.2
ネットマスク：255.255.255.248

※最初と最後のアドレスはシステムで予約されているためWARPSTARで使用できるIPアドレスは200.200.200.2～200.200.200.7の６個です。

１３．［設定］をクリックする

１４．［基本設定］の ▼ をクリックし、［WAN側自動接続設定］を選択する

１５．［接続先の設定］をプロバイダからの設定情報をみながら、設定する

接続先名：

プロバイダの名称など接続先がわかるように入力します。

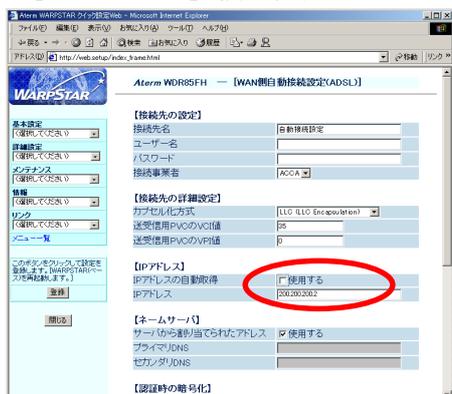
ユーザー名：

接続事業者／プロバイダの指示に従って、ユーザ名（認証ID）を入力します。（例：認証ID＠xxxxxx.ne.jpなど。＠以下は事業者によって異なります。）

パスワード：

プロバイダから割り当てられたパスワードを入力します。

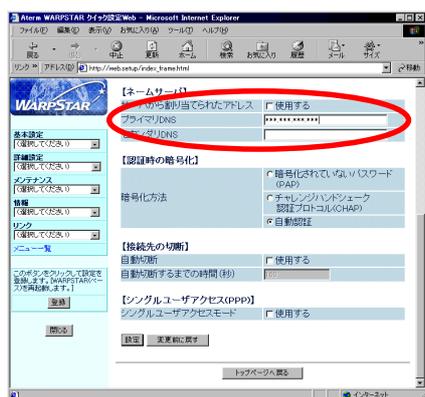
（次ページに続く）

１６．［IPアドレス］欄で設定する

IPアドレスの自動取得：

［使用する］のチェックを外します。

IPアドレス：

通常はプロバイダから割り当てられたグローバルIPアドレス範囲の２番目のIPアドレスを入力します。**例）200.200.200.2**

１７．［ネームサーバ］で［サーバから割り当てられたアドレス］の［使用する］のチェックを外し、［プライマリDNS］［セカンダリDNS］を設定する

プライマリDNS：

プロバイダから指定された、または、自分で運営している１番目のDNSサーバのIPアドレスを入力します。例）211.211.211.1

セカンダリDNS：

プロバイダから指定された、または、自分で運営している２番目のDNSサーバのIPアドレスを入力します。例）211.211.222.2

１８．［設定］をクリックする

１９．［登録］をクリックする

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅してWARPSTARベースが再起動します。

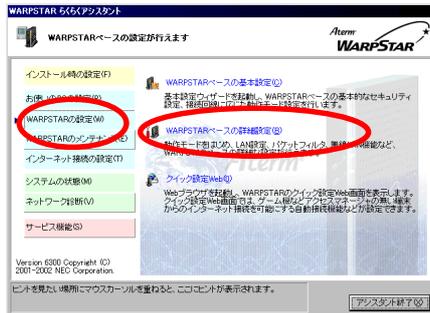
２０．パソコンの設定を行ってください。

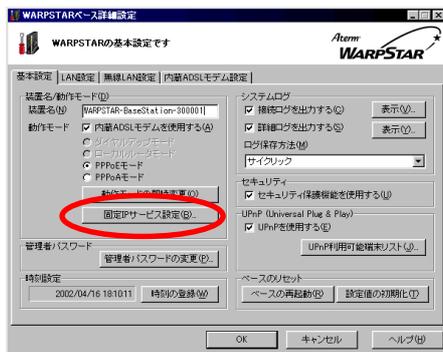
P.24～P.25を参照してパソコンの設定を行ってください。

らくらくアシスタントで設定する

WARPSTARの動作モードが［PPPoEモード］の場合にのみ設定できます。ここでは既に［インストール時の設定］で、インターネットの接続先を１つ登録している場合を説明しています。

１．らくらくアシスタントを起動する

２．［WARPSTARの設定］をクリックし、［WARPSTARベースの詳細設定］をクリックする

３．管理者用パスワードを入力し、［OK］をクリックする

４．［基本設定］タブで［固定IPサービス設定］をクリックする

５．［固定IPサービス対応モードを使用する］にチェックする

６．［LAN側のIPアドレス］［LAN側のネットマスク］にWARPSTARに割り当てるIPアドレスとサブネットマスクを入力する

例)グローバルIPアドレス８個割り当てサービス利用の場合

割り当てられたIPアドレス：

200.200.200.1～200.200.200.8

ネットマスク：255.255.255.248

DNS：211.211.211.1

セカンダリDNS：211.211.222.2

WARPSTARの設定

LAN側IPアドレス：200.200.200.2

LAN側ネットマスク：255.255.255.248

７．［DHCPサーバを無効にする］にチェックする

８．［ＯＫ］をクリックする

９．［UPnP機能を使用する］のチェックを外す

※UPnP機能と固定IPサービスは同時に使用しないでください。この設定で［UPnP機能］を［使用しない］状態にしました。

１０．［ＯＫ］をクリックする

※しばらく時間がかかりますのでお待ちください。（３～５分程度）
設定が完了するとらくらくアシスタントのメインメニュー画面が表示されます。

１１．パソコンの設定を行う

P.24～P.25を参照してパソコンの設定を行ってください。

１２．アクセスマネージャを起動する

タスクトレイにあるアクセスマネージャアイコンを右クリックする

１３．［その他のツール］－［接続先の設定］を選択する

１４．固定IPサービスを利用したい接続先名を選択して、［接続先の編集］をクリックする

１５．［接続先］［ユーザー名］と［パスワード］を設定する

接続先：
プロバイダの名称など接続先がわかるように入力します。
ユーザー名：
接続事業者／プロバイダの指示に従って、ユーザ名（認証ID）を入力します。（例：認証ID＠xxxxxx.ne.jpなど。＠以下は事業者によって異なります。）

パスワード：
プロバイダから割り当てられたパスワードを入力します。

１６．［IPアドレス］［ネームサーバ］をプロバイダからの設定情報をみながら設定する

IPアドレス：
［次のIPアドレスを使う］をチェックします。
［IPアドレス］に通常はプロバイダから割り当てられたグローバルIPアドレス範囲の２番目のIPアドレスを入力します。

ネームサーバ：
［ネームサーバアドレスを接続する］をチェックします。
プライマリDNS：
プロバイダから指定された、または、自分で運営している１番目のDNSサーバのIPアドレスを入力します。
セカンダリDNS：
プロバイダから指定された、または、自分で運営している２番目のDNSサーバのIPアドレスを入力します。

１７．［上書き登録］をクリックする

１８．［閉じる］をクリックする

１９．［はい］をクリックする

【 4-3　パソコンの設定を行う】

お使いのパソコンのＯＳに応じて設定を行ってください

Windows® XPの場合

１．［スタート］－［マイネットワーク］を選択する

２．［ネットワーク接続を表示する］を選択する

３．WARPSTAR が接続されているネットワークアダプタ名（"WARPSTAR WL11C（PC－WL/11C）など）の［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］を選択する

４．リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

５．［インターネットプロトコル（TCP/IP）プロパティ］画面で次のように設定する
・IP アドレス：プロバイダから割り当てられた IP アドレスのうち、他のパソコンや WARPSTAR に設定した IP アドレス以外を入力する（例：200.200.200.3）
・サブネットマスク：プロバイダから割り当てられたパソコンのサブネットマスクを入力する
・ゲートウェイ：WARPSTAR ベースに割り当てたグローバル IP アドレスを指定する（例：200.200.200.2　P.20 参照）
・DNS 設定：「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックし、優先 DNS サーバに WARPSTAR ベースに割り当てたグローバル IP アドレスを指定する（例：200.200.200.2　P.20 参照）

６．［ＯＫ］をクリックする

７．［閉じる］または［ＯＫ］をクリックする

Windows® Me/98の場合

１．［マイコンピュータ］の［コントロールパネル］の［ネットワーク］を開き、リストの中の［TCP/IP －＞（ネットワークアダプタの名称（"Aterm WL11C（PC－WL/11C）"など）］　を選択し、［プロパティ］をクリックする

２．［TCP/IP］画面で次のように設定する
・IP アドレス：プロバイダから割り当てられた IP アドレスのうち、他のパソコンや WARPSTAR に設定した IP アドレス以外を入力する（例：200.200.200.3）
・サブネットマスク：プロバイダから割り当てられたパソコンのサブネットマスクを入力する
・ゲートウェイ：WARPSTAR ベースに割り当てたグローバル IP アドレスを指定する（例：200.200.200.2　P.20 参照）
・DNS 設定：DNS を使う、WARPSTAR ベースに割り当てたグローバル IP アドレスを指定する。（例：200.200.200.2　P.20 参照）ホスト名には他のパソコンと重複しない名前を任意で入力する

３．［ＯＫ］をクリックする

４．［ＯＫ］をクリックする

５．画面の指示に従ってパソコンを再起動する

Windows® 2000の場合

１．［マイコンピュータ］の［コントロールパネル］の［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルクリックする

２．WARPSTAR を接続しているネットワークアダプタ名（"Aterm WL11C（PC－WL/11C）"など）の［ローカルエリア接続］を選択し、［ファイルメニュー］の［プロパティ］をクリックする

３．リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

４．［インターネットプロトコル（TCP/IP）プロパティ］画面で次のように設定する
・IP アドレス：プロバイダから割り当てられた IP アドレスのうち、他のパソコンや WARPSTAR に設定した IP アドレス以外を入力する（例：200.200.200.3）
・サブネットマスク：プロバイダから割り当てられたパソコンのサブネットマスクを入力する
・ゲートウェイ：WARPSTAR ベースに割り当てたグローバル IP アドレスを指定する（例：200.200.200.2　P.20 参照）
・DNS 設定：「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックし、優先 DNS サーバに WARPSTAR ベースに割り当てたグローバル IP アドレスを指定する。（例：200.200.200.2　P.20 参照）

５．［ＯＫ］をクリックする

６．［ＯＫ］をクリックする

Macintoshの場合

Mac　OS　9.2の場合

１．アップルメニューの［コントロールパネル］の［TCP/IP］を開く

２．［TCP/IP］画面で次のように設定する
・IP アドレス：プロバイダから割り当てられた IP アドレスのうち、他のパソコンや WARPSTAR に設定した IP アドレス以外を入力する（例：200.200.200.3）
・サブネットマスク：プロバイダから割り当てられたパソコンのサブネットマスクを入力する
・ルータ：WARPSTAR ベースに割り当てたグローバル IP アドレスを指定する。（例：200.200.200.2　P.20 参照）
・ネームサーバアドレス：WARPSTAR ベースに割り当てたグローバル IP アドレスを指定する。（例：200.200.200.2　P.20 参照）

５　フレッツ・ISDN 自動接続対応

（AtermWB55TL、AtermWB50T、AtermWL50T のみ）

【　5-1 フレッツ・ISDN自動接続とは】

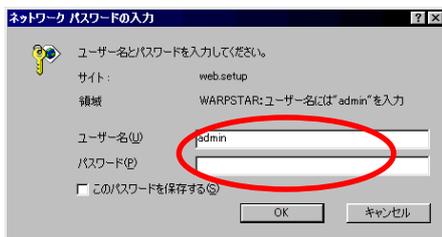
フレッツ・ISDN にダイヤルアップで自動接続を行うことができます。
インターネットへの自動接続の設定がダイヤルアップモードでも、できるようになりました。
これにより、ゲーム機などからも、アクセスマネージャ/ダイヤルアップマネージャを使用せずに回線接続することができます。

【　5-2 クイック設定Webで設定する】

１．パソコンを起動する

２．ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

WARPSTARベースのIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は、「192.168.0.1」です。）
例）http://192.168.0.1/

３．ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力する

４．［ＯＫ］をクリックする

５．［基本設定］の ▼ をクリックして［基本設定］を選択する

６．［動作モード］で［ダイヤルアップモード］を選択する

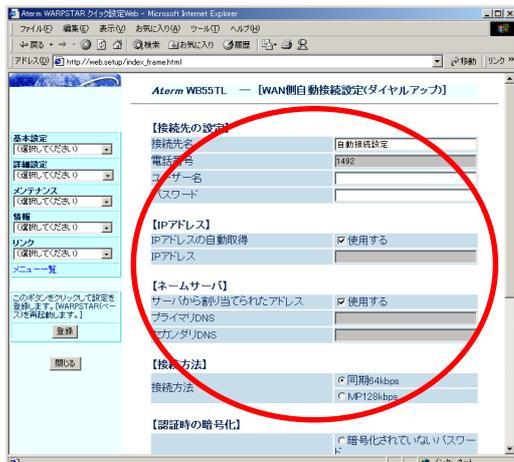
７．［自動発信］で［する］を選択する

８．［常時接続］を選択する

９．［設定］をクリックする

１０．続けてインターネット接続の設定を行います。

１１．［基本設定］の ▼ をクリックして［WAN側自動接続設定］を選択する

１２．プロバイダからの情報に従って、設定する

接続先名：

接続先がわかるようにプロバイダの名称を任意に入力します。

ユーザー名：

接続事業者／プロバイダの資料に従って「ログインID」（ユーザID）（例： xxxxx@biglobe.ne.jp など）を入力します。

パスワード：

接続事業者／プロバイダの資料に従ってパスワードを入力します。

IP アドレス：

通常は［IPアドレスの自動取得］を［使用する］のまま使用します。

IP アドレスの自動取得を利用しない場合は、チェックをはずし、入力してください。

ネームサーバ：

通常は［サーバから割り当てられたIP アドレス］を［使用する］のまま使用します。

使用しない場合はチェックをはずし、プライマリDNS、セカンダリDNS を入力してください。

接続方法：

［同期64kbps］を選択します。

フレッツ・ISDNは64kbpsでの接続サービスなので、MPには設定しないでください(2002年４月現在)。なお、フレッツISDN以外のアクセスポイントは設定できません。

１３．［設定］をクリックする

１４．［登録］をクリックする

WARPSTARベースの前面の各ランプが点滅してWARPSTARベースが再起動します。